

教科（地理歴史） 科目（ 日本史 B ） 学年（ 3 ） 単位数（ 5 ）

類型（ 文 ）

履修規定（ 選択 ）

学習の目標			使用する主な教材				
1 日本の歴史の展開を世界史的視野に立って総合的に理解する。 2 日本の伝統の特色についての認識を深め、歴史的思考力を培い、国際社会に生きる日本人としての資質を養う。 3 本校は弥生時代後期の遺跡上に立地し、出土遺物が記念館 1 F に展示されている。このような地域の歴史や文化財にふれ、史料や地図、遺物など多くのものから歴史認識を豊かにしていく。			教科書 『詳説日本史 改訂版』（山川出版社） 副教材 『新詳日本史』（浜島書店）				
期	月	学 習 内 容	学 習 の 具 体 的 内 容 と ね ら い	主な評価の観点			
				①	②	③	④
一 学 期	4	第Ⅲ部 近世 第 6 章 幕藩体制の確立 織豊政権 桃山文化 幕藩体制の成立 幕藩社会の構造	・ヨーロッパ世界との接触とその影響、鎖国などその後の対外関係、支配体制と身分制度や儒学の興隆、文化の特色に着目して、織豊政権・幕藩体制の特質について考察する。	○ ◎	 ◎ ○	○ ○ ○	◎ ○ ◎
	5	第 7 章 幕藩体制の展開 幕政の安定 経済の発展 元禄文化	・幕藩体制のもとでの経済機構や交通・技術の発展、都市の繁栄に着目して、農業や商工業の発展および町人文化の形成、農山漁村の生活文化について考える。	○ ○	◎ ◎ ◎	 ○	○ ○ ○
	6	第 8 章 幕藩体制の動揺 幕政の改革 宝暦・天明期の文化 幕府の衰退と近代への道 化政文化	・封建体制の動揺や祖法である「鎖国」を揺るがす欧米諸国の接近と資本主義の圧力の中、開国に至る過程について考察する。	○	◎ ◎ ◎ ◎	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
	7	第Ⅳ部 近代・現代 第 9 章 近代国家の成立 開国と幕末の動乱 明治維新と富国強兵	・文明開化など欧米の文化・思想の影響や国際環境の変化に着目して、開国・明治維新から自由民権運動を経て立憲体制が成立するまでのわが国の近代化の推進について考察する。	◎ ◎	○ ○	 ○	○ ○
二 学 期	8	立憲国家の成立と日清戦争 日露戦争と国際関係	・条約改正、日清・日露戦争とその前後のアジア及び欧米諸国との関係に着目して、わが国の立憲国家としての展開について考察する。	○ ○	 ◎	◎ ◎	○ ○
	9	近代産業の発展 近代文化の発達		 ◎ ◎	○ ○	○ ○	
	10	第 10 章 二つの世界大戦とアジア 第一次世界大戦と日本 ワシントン体制 市民生活の変容と大衆文化	・国際社会の中で、日本の立場に着目して、第一次世界大戦前後の対外政策の推移や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について考える。	○ ○	 ◎ ◎	◎ ○	○ ○ ○
	11	恐慌の時代 軍部の台頭 第二次世界大戦	・国際社会の動向、国内政治と経済の動揺、アジア近隣諸国との関係に着目して対外政策の推移と戦時体制の強化など第二次世界大戦と日本との関わりについて考察する。	○ ○ ○	◎ ◎ ◎	 ○ ◎	○ ○ ○
		第 11 章 占領下の日本 占領と改革 冷戦の開始と講和	・第二次世界大戦後の国際関係の推移に着目して、占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立などわが国の再出発やその後の政治の推移と新しい外交関係の確立について考察する。	○	 ◎	○	○ ○

